



2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

HIROSHIMA KUKO Rotary Club Weekly-Report

会長 小島 勘次 副会長 岡田 雄幸 幹事 兼田 昌紀 SAA 松下 知美

広島空港ロータリークラブ

2024-25 2024年11月27日発行

事務局 三原市本郷南6丁目3-26 三原臨空商工会2F
TEL 0848-86-0986 FAX 0848-86-0992
E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル(TEL 0848-60-8111)

2710地区 上田文雄ガバナー 信条

行動しよう、未来のために。=変革に取り組もう=

本日のプログラム(11月27日)

3クラブ合同例会

18:00~20:00 フォレストヒルズガーデン

次回のプログラム(12月11日)

森崎正治会員

「私のロータリーあれこれ」

第1319回 2024年11月20日 上田ガバナー公式訪問例会記録



会長幹事会 11:30~12:00 例会 12:30~13:30 フォーラム 13:40~15:10

点 鐘 小島会長

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ご 紹 介

ガバナー 上田文雄様(岩国RC)
ガバナー随員幹事 中邑隆哉様(〃)
ガバナー補佐 亀田茂登様(尾道東RC)
ガバナー補佐幹事 藤本英次様(〃)

出 席 報 告

	会員数 シニア会員	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (11/20)	28 3	21 0	0 4	3 1	87.50
メイク	小島				

食 事 時 間



- ・先付 小松菜白和え
- ・造り 鯛のお造り
- ・蓋物 鯖みぞれ煮
- ・御飯 白御飯
- ・香の物 一色
- ・汁物 赤出し

入 会 式

会員増強委員会佐々木委員長よりご紹介



本日2名の入会式を行うことが出来、本当に嬉しく思います。詳しいことは、後ほどお話していただきますが、佐々木直子さんは、皆さんご存じの通り私のパートナーでございます。いつも家族例会で参加してくれていましたので、ちょこちょこ口説いて入会してもらうことになりました。歯科衛生士・歯科技工士の資格をもっており、歯科医院を広く全般を手伝ってくれています。小島 諒さんは、小島会長のご子息でカーブス



の20店舗のオーナーでございます。今後カーブスの方をお迎えしての楽しい卓話も期待しています。サッカーもゴルフもお得意なスポーツ万能な方です。



氏 名	佐々木直子(ささき なおこ)
事業所・役職	医療法人なかま さいざき歯科・理事
事業所住所	三原市幸崎能地4丁目21-7
業 種	歯科衛生士

本日入会させていただきました佐々木直子と申します。職業は歯科衛生士です。主人から「お昼に美味しいものが食べれるよ!」という甘い誘いによって入会させていただきました。家族例会では何度かお世話になっていましたが、また違った視点で広島空港ロータリークラブに係ることが出来てとても光栄です。どうぞよろしくお願い致します。

氏 名	小島 諒(おばた りょう)
事業所・役職	(株)エーガールズ・代表取締役
事業所住所	三原市城町1丁目12-5
業 種	複合サービス業(フィットネスクラブ)

株式会社エーガールズの小島と申します。先日大事故をしまして死にかけたのですが、奇跡的に助かったという事で、親父から第2の人生でロータリーに入らないかという事で入会を決意しました。ゴルフ等で何度かお会いしていますが、ロータリーが何かという事は詳しくないので、先輩方と一緒に勉強させていただいて頑張っていけたらと思っていますので宜しくお願い致します。

澤井 会員より



テーブルの上に毎年恒例の「今年の漢字」予想の用紙をお配りしています。

結果は12月12日清水寺で発表されますので、是非ガバナー、ガバナー補佐、随員幹事の皆様もご記入ください。もし当たれば豪華？な粗品をお送りいたします。本日お帰りの時に事務局にお渡ししてください。

会 長 ひ と 言



改めまして、上田ガバナー、亀田ガバナー補佐、中邑ガバナー随員幹事、藤本ガバナー補佐幹事、本日はお忙しい中、ようこそお越しくださいました。後ほど卓話ならびにフォーラムでのご指導、宜しくお願い申し上げます。

上田ガバナーの卓話時間を十分にとりたいので、簡単にお話しさせていただきます。先ほど喫煙ルームで河井さんより入会にご興味を示されている方の話がありました。また鶴田幸彦さんがご紹介頂いている方も入会間近のようで、大変嬉しく思っています。

それでは、上田ガバナーのお話しをお聴きして、後半戦につなぎたいと思いますのでよろしくお願いします。

幹 事 報 告



【本日の配布物】

- ・公式訪問次第

【回覧】

- ・今後の例会出欠確認
- ・チャリティーバザー報告
- ・3クラブ合同例会 送迎バス時間表

【お知らせ】

- ・次週11月27日3クラブ合同例会は、18時からフォレストヒルズガーデンで行います。ホストクラブですので、集合時間は17時30分をお願いします。

卓 話 時 間



国際ロータリー第2710地区 ガバナー
上田 文雄 様

ただ今、ご紹介に預かりましたガバナーの上田です。岩国ロータリークラブに所属しております。当クラブが69回目の公式訪問となります。先日の地区大会では、多くの方に参加していただき大変ありがとうございました。お天気にも恵まれ、最後まで行事が出来たので本当に良かったと思います。

【RI会長】

今年度のRI会長はステファニー・A・アーチックさんです。アメリカのペンシルバニア州、マクマリー・ロータリークラブ所属です。RIの戦略計

画委員会の委員長をされていまして5年前からRIで行動計画の推進を進めていましたが、コロナの影響でうまくいっていませんでした。今年度から行動計画を進めるために、クラブ3年間の目標という形で進めることになりました。

■テーマ

会長のテーマは、The Magic of Rotary、ロータリーのマジックです。

アーチック会長は、ドミニカ共和国での浄水器設置活動をしていた時に、汚水が浄水器に入り透明な水が出てくるところを見ていた少年に「もう一度魔法を見せて」と言われました。少年は安全な水が簡単に入手できれば自分たちの人生が変わる事を知っていました。私が少しでもその力になったことを知ったことで私の人生も変わったと述べられています。

それをきっかけにRI会長になられたということです。人生が変わるぐらいの奉仕活動、インパクトになる活動をしてくださいと言われています。

■重点目標

重点目標としましては、ロータリーの行動計画に基づき、

- ・平和構築のために「世界の分断を癒す」

四つのテストを是非使っていただき、ロータリーだけではなく周りの人たちに広めてくださいと言われています。

- ・会員増強のための「クラブ文化の見直し」
- ・ロータリーのマジックの実践により世界に変化をもたらす。

行動計画を各クラブが実行して、ロータリーのマジックを行って世界を良い方に変えて欲しいと言われています。

◇積極的な平和構築のために「世界の分断を癒す」

平和構築が私の最優先課題の一つだとして行動喚起を呼びかけられました。そのプログラムの一つの、ロータリー平和フェローシップではロータリー平和センターを卒業した1800人以上の平和フェローがより良い世界を築くため活動しています。そして2025年にイスタンブールに新たな平和センターが設置されます。これを記念して「分断された世界を癒す」をテーマにロータリー平和会議が行われます。それまでの間、会員の皆さんも平和の推進のために多くのことができます。その手段の一つとして「四つのテスト」があります。四つのテストを実践していけば世界はより良くなるでしょう。

◇会員増強のための「クラブ文化の見直し」

会員増強のためのクラブ文化を見直し、行動計画に基づくマジックを実行し、インパクトのある活動を行って、世の中に良い変化をもたらしてください。

【上田ガバナー】

■ガバナー信条

RI会長のテーマを受けまして私のガバナー信条を「行動しよう、未来のために。＝変革に取り組もう＝」としました。

■重点目標

1. クラブ文化を見直し(DEIの推進)
2. 奉仕活動に取り組もう！

世界のロータリーの会員数は、残念ながら毎年1万数千円減っております。特にイギリスが2014年と2023年を比較してみますと3割減。2019年から2023年のコロナの4年間で2割減。このように先進国が大幅に減っています。一方アジアのインド、韓国、台湾は増えています。相殺して1万数千人の減少となっております。

当地区では昨年より27人減で3100人を切ってしまいました。コロナの5年間では6%減少、ピーク時の1998年と比較しますと3割近く減少です。クラブ数は変わらないので、各クラブの会員数が3割減っているということになります。特にグループ9、10は2割近く減です。規模別に見ますと、2019年に30人未満であったクラブは、2割以上減。50人以上のクラブはほとんど減っていません。20人未満のクラブは4クラブ増えて11クラブ、30人未満のクラブは7クラブ増えて25クラブ、地区の中の3クラブのうち1つのクラブが30人未満になってしまいました。

ご存じのように竹原ロータリークラブさんが、2019年に25名が、2024年7月で10名になり12月の創立60周年を迎えRIを退会されます。危機的な状態になっている事をご理解頂きたいと思います。

コロナ禍で例会中止になり親睦も出来ない状態。高齢の方の退会もあり会員数が減少したことで、活動意欲がなくなった。1人当たりの負担が増えてなかなか活動もできない。年会費が高い、お昼の例会に出席できないという理由で新しい会員が入ってこない。このような状況のクラブは多いのではないのでしょうか？

■クラブの課題

◇満足度調査

会員の皆様が何を望んでいるか、特に入会3年未満で慣れていない方は満足度が低い傾向にあります。そういう人たちの意見を聞くというのが重要です。会員満足度調査をし、何がクラブの課題なのか、よりクラブを魅力的にし、他の人を誘いたくなるようなクラブにするにはどうしたらよいか、考えてください。

会員の少ないクラブは、合同例会などをして人脈を広げ魅力的にしています。私が岩国RC会長をしたのが2016-17年度でした。ガバナー補佐のクラブ評価は最悪とされました。それはなぜかと言いますと、毎年平均年齢が上がっています。40歳で入会をされた方が、7年間最低年齢でした。要は7年間若い方が入会されていないということです。元会員の後継者の人に、何故ロータリークラブに入ってくれないのかと尋ねましたら、「若い人がいないから楽しくない」と、言われてしまいました。

まずは勉強したい、意欲のある方に一人入会いただくと、その後2、3人入会し、平均年齢が少し下がりました。そして会員満足度調査をしたところ、満足度が低いという結果になりました。

特に若い人たちが不満を持っている感がありましたので、本音を聞くために、様々な年齢で7～8人程でファイヤーサイドミーティングを開き、本音を出してもらいましたら、色々な話が出てきました。

1. 入会時にロータリーの説明がないのでロータリーのことが良く分からない。
2. 先輩に聞いてもロータリーに関する考えがばらばら、誰に聞けばよいのか。
3. いつも同じテーブルに座る人が多くて、交流ができない。
4. 例会だけでは、交流する機会が少ない。
ファイヤーサイドミーティングのような会合を増やしてほしい。
5. 新入会員の卓話だけでなく先輩の卓話も聞きたい。
6. 地元出身ではない者にとって例会の交流が重要。もっと交流できるように。
7. 奉仕活動に参加する機会がない。機会を作してほしい。
8. 女性を入れてほしい。
9. 同好会はないのか。

では、魅力的なクラブにするためには、と、全

員で話し合いをしました。いろんな案が出ましたが、当時(2019年)コロナで事業ができなかったので、まずは例会の時間を確保するということで、12時15分から例会行い、食事を始めて40分からWeb例会を行いました。若い方たちにリーダーシップを取ってもらいました。一番良かったことは、若い方たちが課題意識を持っているということとを共有化したことです。それをきっかけに若い方が増えることになったのですけれども、問題は女性会員でしたが今年7月入会されました。

RLIには、若い人も含めてノミニーなどに受けていただくのが良いと思います。

■変化への取組み(クラブ文化の見直し)

◇DEIの推進

多様性(Diversity) 公平さ(Equity) インクルージョン(Inclusion)国籍・人種・宗教の多様性ということですが、日本での問題は若い人、女性、そういうことでしょうか。

◇誰でも(D)、笑顔で(E)、居心地の良い(I)クラブにしてい

入会3年未満の方たちは満足度が低い傾向にあります。満足していただくためには、入会時の教育やフォロー体制、本人の希望、要望をいかに取り入れるか、早い時期に活躍していただくことが重要です。

■会員増強

43歳未満の方、女性、サラリーマンの方、幅広い方を対象に入会していただくには、どうしたら良いか。オープン例会などを行って気軽に参加していただくことも一つでしょう。

まずは対象者のニーズを把握する。元会員の後継者の方が入会されているかといいますと、残念ながらそうではありません。順調に入会する仕組みを作ることを考えないといけません。家族会員という形を作り、家族とか同一企業から入会される場合は、少し割安にされるなどの仕組みを作ると後継者も入りやすくなると思います。

■衛星クラブ

今年度、衛星クラブが広島で出来ました。親クラブの会員数によって異なりますが、会員数が8人以上で多くは夜間例会、食事なし、会費10万円以下などとなっています。2710地区では昼間開催で食事なしです。このように定年退職者、主婦の方なども入りやすいクラブもできています。このように自由なロータリークラブもある事を理解してください。

広島西南平和ロータリー衛星クラブのチャー

ターナイトがありまして、私、参加してきました。これは広島西南ロータリークラブがオープン例会を行った時、親クラブに入りにくいという人たちを中心に、元ロータリアンの方、東京から帰ってきた方、元ロータリアンの退職者の方、女性など14名に増えています。

■年会費

入会時の一番の障害というのはやはり、年会費です。そして、昼間の時間が取れないということです。お金と時間を使ってでもそれ以上の魅力があるという事を伝えられるかどうか。

■ロータリーの魅力

ロータリーの魅力というのは何なのでしょう。入会した方にいろいろ聞いてみると、一番は世界につながる幅広い人脈と信頼できる仲間が出来ることです。若い人が悩みを持っているときに相談したら親身になって応えてくれる。こんなクラブは他にはないです。

それから学びと成長です。自分自身が学び成長して企業も発展できる。これが重要です。

■4つのテスト

成長と発展、これに関しましては「4つのテスト」が役に立ちます。

というのはアメリカでスタートした時は会社の再建をするために行ったことです。経営者と社員との信頼関係が完全に崩れていたのを回復するために「4つのテスト」を考え掲げて、社員と取引先の信頼を回復しました。経営が良くなり顧客との信頼関係も良くなりました。これは幅広いことに使えるということでロータリーでも「4つのテスト」が使われました。実際に若い方が実行されています。

例えば防府北ロータリークラブの方ですが、入会した時に「4つのテスト」の額をもらったので店舗(レストラン)に掲げて、経営方針を「4つのテスト」にされたところ、社員が辞めなくなり、レストランの売り上げも上がり、他店舗展開もされたそうです。

お店に掲げているので、お客様が私もロータリアンですよ、と、そういう広がりもでき、社会貢献をしているということで、周りからの信頼も上がってきました。

そういう風に小さな会社でも「4つのテスト」を掲げて景気が良くなってきているという事例はたくさんあります。

■奉仕活動

奉仕活動に関しましては東日本大震災以降、国民の意識がだいぶ変わってきています。何かした

いという意識があります。

例えば今年能登震災の時には、岩国ロータリークラブが2月の1番寒い時にスーパーで募金活動をしたところ、高い確率で1000円を寄付していただきました。昔とは考えられない高い確率です。通り過ぎて、わざわざ戻って来られた方もいらっしゃいます。

■環境問題

環境問題が2021年7月からRIの7番目の重点分野になりました。特に環境難民が国連UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)で定義されています。台風、砂漠化、海面上昇などで、大規模な環境転換で住んでいる土地を離れなくてはならなくなった人々が年間2000万人以上います。月曜日の日経を見ていましたら2050年には2億人以上になると書かれていました。



■環境(SDGs)

2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標SDGsということで、子どもたちは学校で学んでいますので、家庭でも話しやすいテーマだと思います。皆さんの家庭の中で何ができるかということを考えていただきたいと思います。

私も以前、環境というのを意識したわけではないのですが、孫が生まれた時に家が寒いから冬は帰りたくないと言われ、2重窓にし、屋根裏、床下を断熱にしましたら、冬でもストーブ、こたつがいなくなり、結露もなくなり本当に快適になりました。尚且つ、電気、ガス代も下がりました。そういう風に快適にすることによって、省エネすることができました。少なくとも窓ガラスは簡単にでき補助金もありますので、居間と寝室だけでもやると全然違います。私の会社では岩国の工場の年間使用料の40%を太陽光発電にしています。

今、環境分野の仕事はどんどん増えていますので、是非とも職業奉仕の一環として、環境にいいことを考えていただければと思います。

クラブ単位で取り組んでいるクラブもあります。例えば瀬戸内海のプラスチックごみ対策、漁

協と協力して藻場の回復、などされています。是非ともそういうことも考えていただきたいと思います。

【重点実施事項】

1. クラブ「3年間の目標」の作成

- ・クラブレベルで、3年間の行動計画の作成と実施

2. クラブ文化の見直し

- ・若い人、助成、経営者でない人等でも居心地の良いクラブにして会員増強を
- ・My Rotary ラーニングセンターの受講促進による自ら学ぶ文化へ

3. 奉仕活動計画の作成

- ・多くの人の参加で奉仕活動を(環境分野への取組推進)
- ・ロータリーのマジックの実践
- ・地区補助金、グローバル補助金への取組推進

4. 会員増強

- ・会員増強目標人数の設定
(最低1名以上、コロナ禍前の人数を目安に)
- ・クラブ会員の多様性推進 満足度向上
DEIに関する理解促進のための取組の実施
誰でも(D)笑顔で(E)居心地の良い(I)クラブに
- ・女性会員数目標の設定

5. ロータリー財団支援

ロータリー財団のお金が何に使われているかわからないといわれます。財団ニュースがPDFで配られていますので、読んでいただいて理解していただきたいと思います。

当地区では昨年度グローバル補助金が2件ございました。下関北と東広島21ロータリークラブで実施していただきました。総額はクラブ負担の10倍程度の支援になっています。

地区補助金については、今年度は17件です。総額1000万程です。是非とも、地区補助金を検討していただければと思います。

地区として一番DDF(地区財団活動資金)を使っているのは、財団奨学生の奨学金です。今年度は4名の方に実施しています。地区DDF約10万ドル、全体で15万ドル、約2300万円を4名の方に奨学金として渡しています。4人とも優秀な方ですが中でも2人の方は非常に優秀で、お1人は平和活動されていて将来は国連職員になりたいということで、そのために今、イギリスに留学されています。2人目の方は海外青年協力隊でアフリカに行かれて帰国、大手の上場企業の会社に勤められてODA(政府開発援助)

のコンサルタントをされています。さらに海外に行って勉強したいということです。思いが強く、意識の高いお二人です。過去このような優秀な方が2人揃ったことはありません。数年前にお1人いらっしゃったくらいです。地区大会の午前の部でメッセージをいただくことになっていますので、是非とも午前の部も聞いていただきたいと思います。

◇ポリオ根絶推進活動

世界の野生型ポリオ発生状況は、2020年14件、2021年6件、2022年30件、2023年12件、2024年2件です。野生型以外に経口ワクチン由来の伝播型ポリオ感染が、2022年に約1,100件発生しています。経口ワクチンでも感染しにくいワクチンへの切り替えが進んで減少してきています。

日本におけるポリオワクチン接種状況は、2011年に経口ワクチンから不活化ワクチン注射に切り替えています。4種混合ワクチン(ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)を4回接種します。また、ポリオワクチン接種費用は、年間100億円近く掛かっています。

ポリオが完全になくなれば、ワクチン接種もなくなります。医療が届かない地域でワクチン接種の仕組みができれば、他の病気も抑えるきっかけにもなります。

6. 米山記念奨学会への支援

皆さんから批判が多くありましたので、今年度は選考基準を大幅に変更しました。

◇地区の目標金額→16,000円/人 以上

◇今年度、米山奨学生選考基準を変更しました。

1. 新規採用は1か国最大30%以内(従来40%)

2. 推薦方法の変更 1大学で1か国最大2名まで 推薦枠7名の場合4か国以上

推薦者の中国出身者比率は下がった
(コロナ禍前60%以上から35%)

3. 採点方法の変更 地区裁量評価項目追加
日本と母国・世界との懸け橋

4. 今年度米山奨学生 合計22名

新規採用17名(応募31名)

(内訳:中国5、ベトナム4、韓国3、インド・台湾・バングラディッシュ・スリランカ・イラン各1名以上、8か国)

継続5名 (内訳:韓国2・ベトナム・マレーシア・インドネシア各1名)

◇世界の分断を癒すためにも、留学生は重要な大きな改革の中で採点方法の変更というの

があります。論文からメッセージ重視に変わりました。当日の面接の項目で、日本と母国、世界の架け橋になるということを意識しました。今まで後に連絡が取れなくなる方が多くありましたので、卒業してからも連絡を取って、日本と母国の架け橋になっていただく方を選ぶようにしました。それによって中国の5人全員が文系になりました。中国に帰ってからも日本語の先生になりたい、日本文化を勉強したいなど、日本との架け橋になるような方です。

防府北ロータリークラブの山口大学に留学されている米山奨学生は、米山の歴史を研究されています。米山に対して、すごくありがたい感謝の気持ちがあり、研究をしていらっしゃるそうです。そういう気持ちの方を選んでいます。

今年度はさらに4名増えて26名です。これは日本人の大口寄付があり、それ以外にも2年前に中国人でアメリカで成功した方が50万ドル6000万円を寄付してくださったお陰です。自分が成功したのは米山のおかげ、後輩に使ってくださいということで、寄付をしてくださいました。米山OBの寄付が1億3000万円以上になっています。モンゴル大統領なども米山のOBですし、各国でいろいろな形で活躍をされている方が多くいらっしゃいます。

世界の分断を減らすためには色々な国の方とのつながりが必要で、しかも国の中で活躍できる人でないといけません。是非とも米山のを理解していただきたいと思います。

■マイロータリー

マイロータリーは登録していただいている方も多いのですが、なかなか見ていただけていない。ラーニングセンターを是非使っていただきたい。会長幹事さんにはお願いをして見ていただいているのですが、新入会員研修等でも使っていただきたいと思います。

今後は研修などがラーニングに変わってきます。例えば地区研修協議会、これも再来年にはラーニングになります。

マイロータリーを開きますと、下にラーニングセンターというのがあります。これをクリックしていただくと、コースカタログがありまして、「ロータリーについて」を開きますとロータリーの基本知識、基本とかがあります。私でも知らないことが書かれています。ロータリーの仕組み、世界の

中のいろいろな情報も載っています。最後クイズが出てきて、楽しみながらできる形になっていますので、是非やってみてください。

「クラブのリーダーシップ」という項目を見ますと、委員会の基本があります。その中でも「ハラスメントの防止」というのを見ていただきたいと思います。これは若い人たちを支援する場合にハラスメント、特にセクハラ、パワハラが大変なことになります。昨年度、ガバナーが地区事務局に対するパワハラで訴えられて、失職しロータリアンでいられなくなった方もおられます。自分がよかれと思って、そういうこともありますので、ぜひ学んでいただきたいと思います。

■行動計画の推進

3年間の目標です。今回、会長、エレクト、ノミニーで新たに行動計画推進リーダーを決めていただきまして、満足度調査などでクラブの課題を共有化してください。

単年度ではできないのでお願いします。地区補助金などもすぐに出来ませんので、3年計画で実施してください。

■魅力的なクラブにするには、どうすればよいか。

新入会員に入っていただき、満足していただく、他の方に紹介していただけるクラブにしていきたいと思います。

地区全体の行動計画推進リーダーは、井内直前ガバナーになっていただいております。9月20日に行動計画推進リーダーの会議があり、どうやって進めて行くかという話があります。日本のロータリークラブのHPもできています。三年間の行動計画の説明もあります。

■ガバナー月信のメール配信について

一番変えたところです。ガバナー月信のPDF配信にご了承をいただいたクラブが60%以上あります。宅配から郵送に切り替えて20万円位コストダウンでき、印刷をカラー化することができました。皆さんから、他クラブのことを知りたいという声がありましたので、各クラブの状況も掲載しています。そのためには8ページでは足りなくて、ページ数を増やすためにもPDFでの配信で読んでいただきたいと思います。

■地区大会

最後になりますが、10月25日～27日の地区大会、皆様沢山参加していただきありがとうございます。

25日ゴルフ、26日会長幹事会での基調講演は江守正多さん(東京大学未来ビジョン研究センター教授・国立環境研究所の気候科学者)という気候

温暖化の専門家で子どもたちに対しても、セミナーを行っていますし、NHKでも指導されています。日本の地球温暖化の予測研究の第一人者です。

世界の平均気温が産業革命以前に比べてプラス1.5℃以下に抑えるようにみんな努力していますが、昨年からの地球温暖化がエルニーニョ現象により特に異常となり、昨年が1.45℃、月曜日の日経には、1月～10月までで1.6℃上昇と書かれており、今年は1.5℃超えるのは確実で、取り返しのつかない状態に近づいている。今ここで何かしないと下げることが出来なくなり暴走してしまいます。是非とも脱炭素社会に対して舵を切らなくてはいけません。我々も出来る事を考えていただきたいと思います。

27日の本会議、基調講演は吉藤オリィさん。この方は、中高生の時に病気をきっかけに学校へ行けなかった。早稲田大学在学中、自身の不登校の体験をもとに孤独解消を目的とした分身ロボットを開発。それによって寝たきりの障害者の方たちが社会参加できるようになっています。山口県でもすでに、学校、教育現場に使われています。寝たきりの子どもが学校に参加することに使われているようです。

■RYLA

2025年5月10日、11日 第17回全国RYLA研究会広島会議を安芸グランドホテルで行いますので、RYLA関係の方お一人、是非参加していただきたいと思います。

本日は、どうもありがとうございました。

クラブフォーラム

